

(お知らせ)

令和2年2月28日
京都市文化市民局
〔担当：文化芸術都市推進室〕
〔文化芸術企画課 366-0033〕
(公財)京都市音楽芸術文化振興財団
(707-6431)

ロームシアター京都新館長就任に係る対応について

ロームシアター京都の新館長に4月1日付けで就任いただく予定の、三浦基氏が代表する「地点」における、元劇団員に対するパワハラ及び不当解雇に関する交渉については、引き続き「地点」と「映演労連フリーユニオン」において継続されている状況にあります。

この交渉につきまして、三浦氏からは「現在、地点と映演労連フリーユニオンにおいて、近く、一定の結論が出せるよう調整を進めている最終段階にある。」旨をお聞きしております。

三浦氏の新館長就任について、京都市及び(公財)京都市音楽芸術文化振興財団としましては、三浦氏へ新館長就任を打診した際の「交渉事案があるものの、パワハラの事実はなく、誠意をもって解決するので心配しないでほしい。」とのご説明を受け、交渉事案が解決されることを前提に就任をお願いしてまいりました。

パワハラをめぐって館長就任に対する批判等の声がある中、新館長就任の約1箇月前が予定どおり館長に就任いただくかを判断するタイムリミットと考えており、「地点」と「映演労連フリーユニオン」との交渉結果を踏まえて、京都市・(公財)京都市音楽芸術文化振興財団で協議を行い、館長就任に関して判断したいと考えております。

今後の対応につきましては、決定次第、改めてお知らせします。

なお、2月末日期限とされる公開質問状については、この状況を踏まえて来週以降に回答したいと考えております。